

平成23年度 東京中小企業家同友会 大田支部総会開催

4月23日(土)大田区産業プラザPIOの4Fコンベンションホールにて、記念講演ならびに支部総会が行われました。東日本地震の影響による計画停電が、4月いっぱい行われるため、懇親会は中止になりましたが、このような状況下にもかかわらず、大勢の会員の皆さんが主席されました。



記念講演 ●

「人を育てる人が会社を伸ばす。 落ちこぼれ経営者と 落ちこぼれ社員、日本一をめざす」

講演者 ● 幼児活動研究会(株) 代表取締役 山下孝一

【会社概要】本社住所：東京都品川区西五反田2-11-17
設立：昭和47年9月／資本金：1億2200万円／従業員数：352名
売上高：43億1800万円(平成22年3月期) 経常利益率13.2% 上場市場 大阪証券取引所 JASDAQ

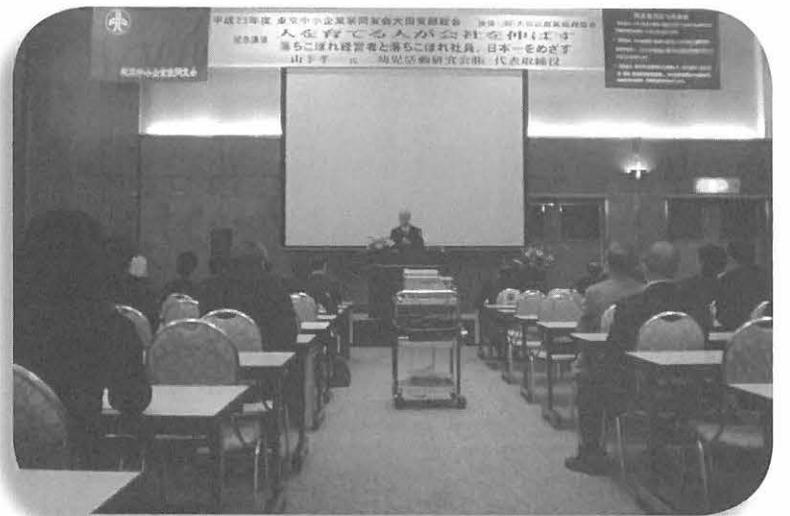
今

年は、(財)大田区産業振興協会の後援をいただき、幼児活動研究会(株)代表取締役の山下孝一氏による記念講演が行われました。

品川区にある幼児活動研究会(株)は、創業以来、三十八年間業績を伸ばし続け、2007年5月、大阪証券取引所「ヘラクレス」に上場しました。その事業内容は、身体を動かしながら身につけていくことが、たくさんある子どもたちのため幼児体育指導。学年別に体育授業を指導する講師を派遣するなど、保育園などと協力して独自のカリキュラムを作成し、指導されています。

しかし、幼児体育指導という新事業を開拓した当初、教員試験に合格すれば退職するよいうな社員ばかりだったと言います。事務所は漫画本が散乱、吸殻の溜まった灰皿…と全くきちんと働けるような環境ではなかったそう

です。そんな調子で10年経ったある日、自社の名前を同級生に恥ずかしくて言えなかったという社員の話を聞いて、「この会社を日本一にする！」と、山下社長は一念発起。そこから、社長と社員の徹底した挑戦が始まりました。「顧客満足第一を掲げる企業は多くあります。さらに、私はそうしてお客様に喜んでいただく」と頑張っている社員の働きにも報いたい。そのため、なんとしても社員に喜んでもらえる会社になりたい。こうした思いから、私の経営理念は『お客様に喜ばれて、社員も喜ばせる』としたんです」と語る山下社長。どうしたら、38年間も事業を伸ばし続けられるのか? どうしたら、やる気のなかった社員を奮い立たせることができるのか? 経営者だったら誰もが直面するであろう課題について、少しでも何かのヒントがあったのではないのでしょうか。



厳しさを徹底する 根底に、社員への 愛情を感じました

報告者 ● テック大洋工業(株) 営業部
鳥潟佑樹

講演内容は、山下氏の創業から現在までに至る、社員に対する心境や対応の変化、変化を促した状況などについてであった。前半は苦労話を冗談まじりに語っていた山下氏が、後半になるにつれ、決意をもった厳しい経営者の顔へと変化していくのを感じた。

もっとも感銘を受けた言葉は、「徹底すること」。それは、社員に対してだけではなく、自分自身への自己管理も含む言葉であると受け取った。

厳しさを徹底する根底には、社員への愛情があり、それがあれば社員はついてきてくれると語る山下氏の確信を持った表情が印象的だった。

一流の経営者、山下氏の体験談、心境の変化を赤裸々にお話いただき、経営者の覚悟と決意を肌で感じさせていただきました。

ぶれない信念! 凄まじい迫力を 感じました

報告者 ● 株日本デジタル通信
有倉将人



まず、3月11日の大震災の影響で開催も危ぶまれた総会が、山下社長はじめ様々な方々のご協力ご尽力で無事開催できたことに感謝しております。

震災後は、このまま日本はどうなってしまうのだろうか、景気が一層低迷してしまっているのではないかと、といったような大きな不安を抱えていたこととあります。それは社員のみならず経営者も同様であったのではないのでしょうか。そんな中で聞きした山下社長のお話は私たちに勇気情熱を与えてくれました。

社員に対する強い愛情と信頼関係、幼児教育を通して日本の社会を創っていくという決意の強さ。経営に下真剣に取り組むそのぶれない信念は凄まじい迫力をも感ぜずにはいられません。自身自身の至らなさを痛感すると同時にふつつつと「情熱」が沸き起こってくるのを感じました。まさに、今年の大田支部のスローガン『情熱』です。こんな例会がたくさん開催できたら大田支部は「情熱大陸」になってしまおうでしょう!

私も山下社長の会社のように、社員が会社に誇りを持ち、仕事に喜びを感じ、そしてお客様を喜ばすことのできる会社を創っていきたくと決意しました。こんな学びの場を提供してくれる同友会大田支部に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

総会にて、2011年支部方針が、鈴木善彦支部長から発表されました。

2011年

支部方針



同友会大田支部

「活動の基本理念」

3月11日に起きた、東日本大震災は未曾有の大惨事となってしまいました。北関東から東北の太平洋岸一帯の港町は、大津波によりその殆どが壊滅的な打撃を受けました。自然の恐ろしさを、まざまざと見せ付けられた思いです。さらに、福島第一、第二原子力発電所の損傷による放射汚染という、非常に厄介な災難まで発生しています。今回の震災による経済的損失は約25兆円と言われ、原子力発電所の放射能漏洩次第では、もつともつと多くの損失になっていく可能性があります。このような、状況の中で、日本の国はいつたいうようになってしまふのだろうか。日本の経済状況は、どうなってしまうのだろうか。まったく、想像が出来ません。

ただ、我々に出来ることは、必要以上に自粛せず、いつも通りの経済活動をする事だと思っております。復旧から、復興に至るまでは、まだまだ多くの時間が掛かると思われます。その流れの中で、必要な原資確保の為、増税という事にもなってしまうでしょう。そうなる、ますます、景気が悪くなってしまうのかもしれません。我々、中小企業は、今までよりさらに厳しい状況に追い込まれて行く事になるでしょう。今は、そういう状況に耐え、早く東北地方が復興できるように、頑張るしか有りません。そして、こういう状況だからこそ、会社を守る為に、継続していく為に、企業理念や、経営方針の徹底が大事になってくると思えます。

1 東京同友会の三つの目的に向かい行動を取る

- ・ 良き経営者になる
- ・ 良き会社をつくる
- ・ 良き経営環境を作る

2 同友会の存在意義を忘れず活動する

- ・ 我々は、経営の勉強をする(多くの経営者の理念を学ぶ)会である
- ・ 経営者としての資質を育て磨く
- ・ 経営上の悩みを相談し合える仲間を作る
- ・ 中小企業が生き生きと行き易くする為に、みんなの意見を聞き、政策提言をする。
- ・ 会社の業績を伸ばし、地域の雇用の一端を担う。

「活動方針」

昨年度の積み残し、やり残しから、今年度の方針も昨年度を踏襲したいと思えます。

1 会員企業の経営上の悩みを吸い上げ、それを解決出来るような例会作りをする。支部

のスローガンに沿った上で、以下のように例会を作る

■ 総会の基調講演：基本的には経営体験であるが、ある程度著名であり、会員増強に繋がるようにする。

■ 年3回 経営体験講演(中小の先輩経営者)：先輩経営者の中で、落ち着いた経営をしている中でも、新たな挑戦を欠かさないような経営者

■ 年2回 経営体験講演(中小の若手経営者)：若手経営者の中で現在勢いがあり元氣付けられる。

■ 年1回 経済や経営の技術的な勉強：士の人等から、経営上必要な経済の勉強や労働問題などの勉強をする。

■ 年1回 ビジネス交流に繋がるような例会：政府施策等で、我々のビジネスに繋がりそうな事の情報収集、勉強。

■ 年1回 南部協大例会参加：今年度は中條高徳氏(アサヒビール名誉顧問)。
■ 年2回 懇親交流会：8月の納涼会、12月忘年会

2 事務局体制を強化し、いつでも会員ニーズに答えられるようにする。引き続き、大田専属事務局員の配置や、大田支部又は南部協で共有の事務所を持つという事を、推奨して行きたいが、東京同友会の組織改正によって、現在の支部体制が大きく変わる可能性がある為、様子見をしたい。

3 各部会の活動を見直し、本当に必要とされている部会、委員会、ブロック会になれるようにする。

幹事会で、各委員会、部会、ブロック会の問題点や要望を積極的に取り上げ、解決し、活性化出来るようにする。

4 先輩会員の参加する場を増やし、少しでも多くの経営理念やノウハウを学び取る。引き続き、マスター会の活動支援する他、プロ

ック会への参加を呼びかけ、幅広い年齢層での交流を図る。

5 若手経営者の育成：…けいしよ会が持っている、悩みや問題点を一緒に討議し、先輩経営者の考え方や思いを伝える。

6 ブロック会を充実し、地域での交流を深める。同友会活動の中で、仲間作りという最も大切な目的の為に、一番必要とされているのがブロック会であるという事を、会員の皆に再認識してもらい、参加者を増やすようにする。例会や懇親会を担当することでブロック会の結束を図る。

7 会員を増強し、新しい血を入れる事で、人脈の拡大と新しい考え方が…会員が増える事と、支部の活動に活気が出て有意義となることは、平行していかないと旨くないかないという事を認識し、新しい会員を増やすことに努力する。また、数多い会員同志とのダイナミックな交流を通して、一歩進んだ経済交流を促進できるようにする。

8 積極的に南部協や東京同友会に参加し、大田支部の考えや思いをぶつける。
南部協大例会に積極的に参加し、南部協の皆と交流を深める。第19回経営研究集会にも積極的に参加する。

9 地域での行政や経済他団体との連携を取り、我々の身近な情報を吸収し住みよい環境作りを考える。街活ネットの一員として、B級グルメの「大田汐焼きそば」が爆発的に売れるよう協力する。大田区との交流を深め、経済団体の代表の一つとして、区から経済に関する意見を求められるようになる。

10 経営者として、また人間として、大田支部の会員は素晴らしいと言われるようにする。そういうられるよう、人間力を磨きましょう。

7月例会報告

「事業継承者の甘えそして覚悟」 会社への思い、自分はどう変わったか 心境の変化を本音で語る



7月20日、PIOにて、けいしろう会主催の7月例会が開催されました。

「入社前と入社後の…」、「心のターニングポイント」、「事業継承についての今の考え」をテーマに、事業を継承した5人の発表者たちが、自分の経験をもとに事業継承へのさまざまな思いを語りました。

発表者 ●

北山輝充 (株)キタヤマ

松浦高士 (株)高華

久保井隼 (株)久保井海苔店

湯本大士 (株)湯建工務店

山崎励士 (株)グッド商事

日

本一中小企業が多いと言われる大田は、名実ともに、日本一の事業継承が行なわれているのではないのでしょうか？そして、何代にもわたる後継者たちが生まれ、この地に歴史を刻んでいく。それは、日本の企業の歴史でもあり、後継者の皆さんは間違いなく、歴史の一部の方々なのです。

だからこそ、会場では真剣な議論が飛び交い、皆、ひとことではなく自分のこととして考えるそんなよき例会になったのではないのでしょうか。

本音で話し、 情熱を持って向き合う

報告者 ● (株)高華 松浦高士

今回の例会を通じてまず思ったことが、いろいろなプライドを捨ててすべて話が出ることの大切さです。発表者各自、話を出来ればしたくない事、恥ずかしいことを素直に発表しさらに解決に向けて行動している。またその中の葛藤などを話していただきました。そんな発表だからこそ、質疑応答では先輩経営者の方から厳しい意見や温かい励ましなどがあり本音で話をするこの大切さ情熱を持って向き合う大切さを実感いたしました。

最後に提案のあったマスターの方々の討論会？非常に面白い内容になりそうなので、是非実行したいと思えました。大きな学びがありそうな予感です。

広報委員長 所信表明



(株)高華
松浦高士

この度、広報委員長をさせていただくことになりました。広報委員の主な活動内容は、広報誌「おおたの同友」の編集・発行と、ホームページの編成・管理になります。

まずはじめに、ホームページですが、みなさん大田支部のホームページがあるのをご存知でしょうか？ご存知の方でも活用されている方はいらっしゃるでしょうか？おそらくほとんどいらっしゃらないと思います。

そんな現在の意味のないホームページ。これを、使える、活用できるホームページに変えていきたいと思っております。

次に、広報誌ですが、現在は定期的に発行されていない状態にあります。これを改善し、さらに毎回届くのが待ち遠しい内容にしたいと考えております。所用で出席できない会員様のために、同友会に出るものが楽しみに変わる…そんな内容も取り入れていけたらと考えております。一生懸命頑張らせていただきます。是非よろしくお願いたします。

南部協議会大例会報告

「混迷の時代に求められるリーダーの条件」 ベクトル合わせが勝つ組織をつくる

6月22日、財団法人大田区産業振興協会の後援で、大田区産業プラザP10で開催された南部協議会大例会。

講師に元アサヒビール副社長で、名誉顧問である中條高德氏を迎え、記念講演を行いました。

講師 ● アサヒビール株式会社 名誉顧問 中條高德氏



なかじょうたかのり 1927年長野県生まれ、
陸軍士官学校60期生。旧制松本高校を経て、
学習院大学卒業後、アサヒビール株式会社に入社。
1988年代表取締役副社長、アサヒビール飲料
株式会社社長を経て、アサヒビール名誉顧問。



常

務営業本部長時代、会社再生計画の一環で、「アサヒスーパードライ」作戦に手大成功を収め、スーパードライの生みの親ともいわれる中條氏。

当時、「トップのキリンビールが60%以上のシェアを握る日本においてシェア逆転は絶対にあり得ない」と、日本のビール業界についてハーバード大学が、こんな研究結果を発表しました。

そんな中、アサヒビールは顧客ニーズを徹底的に調査研究し、当時は困難と思われた生ビールの商品化を追求し、「アサヒスーパードライ」を投入した結果、「奇跡の大逆転」を演じたのです。

その軌跡を導いた中條氏は、「組織の方向性の明示、すなわちベクトル合わせこそ、リーダーとして最初になすべきことだ」と語ります。

陸軍士官学校において、「兵法」を学び、ビジネスの現場で組織をまとめ、競争を勝ち抜いてきた中條氏に、「勝つ組織をつくりだすリーダーシップの極意」を語っていただきました。



修羅場を 乗り越えてきた人の 迫りに圧倒！

報告者 ● 株式会社 シュウエイ 代表取締役
秋元次治

講師のアサヒビール名誉顧問の中條先生の修羅場を乗り越えてきた人の年代を感じさせない迫りに圧倒させられました。経営の勉強は少しばかりしたつもりでしたが、歴史観というか時代の流れみたいなことの不勉強をつくづく痛感しました。戦後の教育が時務学（生きる為金がすべての）の教育で人間学（人間の徳を養う学問）の教育がおざなりになった事は、間違いなく共感しました。経営者としてもっと人間学を取り入れた経営を目指したいと思いました。

(部会活動報告)

大田支部では、様々な学びを得ることのできる「部会・委員会」と、地域ごとのコミュニケーションをより深めるための「ブロック会」を設けています。全会員が、何かの「部会・委員会」ならびに「ブロック会」に所属しています。今月は、そんな「部会・委員会」、「ブロック会」からいくつか報告が上がっています。所属している会以外の催し物にももちろん全員が参加できますので、今後の活動の参考にしてみてください。

部会・委員会

温故知新の会

(株)井上製作所 井上健太郎



温故知新の会は、昨年度より引き続き大田支部の歴代支部長を訪問し、お話をお伺いさせて頂いております。毎回細かいテーマを設けておらず、講師の自社の事業活動の成功体験や失敗例、同友会への想いや活動実績などをお伺いし気づきや学びを各自が持ち帰るとい部会活動です。若手経営者・経営幹部の多い部会ですので部会終了後の2次会も談論風発し、かなり遅い時間までなんて事も常々…。

本年度の最初の部会では株式会社キタヤマ北山会長の所へお伺いさせて頂きました。

まず、北山会長より自社の沿革と事業環境についてご説明を頂きました。商品倉庫にご案内頂き、商品現品を手にとらせて頂き過去の実績から将来への展望について具体的にお話し頂き、特に現在注力されている自社ブランド製品の開発秘話とは

でも興味深く、示唆に富むものでした。

次に、同友会で北山会長が行った数々のチャレンジのお話を伺いました。中でも新卒採用から新人教育のシステムを一から構築した際の当時の活動は中小企業が団結する事により自社だけでは出来ない事を同友会を通じて成し遂げるとい基本的な事を改めて考えさせられると共に会長の若手への叱咤激励であると感じ入りました。

最後に「旧東海道大森まちづくり協議会」会長など数々の地域振興の旗振り役としての精力的な活動のお話し頂き『皆で盛り上がるのが好きなんだよなあ』という北山会長の少年の様な素敵な笑顔がとても印象に残る素晴らしい部会でした。

けいしょう会

(株)キタヤマ 北山輝亮

けいしょう会が一泊幹事会で出来上がったから、二年半がたちました。今年が一番の出来事は、担当例会を持たせ頂いたことです。経営者の先輩方が勉強している同友会で、まだ経営者になっていない私たちが、何かみなさんの期待に答えられるような企画ができるのか、本当に悩みました。例会内容を何度も遅くまで打ち合わせしたことを覚えております。

7月に担当例会を終え、落ち着いて振り返ってみると、メンバー全員が良かったと口をそろえて言っています。

例会作りを勉強できたということも勿論ですが、例会の準備をする中で、「本当にそれでいいのか」「本音で言っているのか」、「それでは伝わらない」、など様々な屈託の無い意見がたくさん出ました。そのなかでお互いが理解しあい、強い仲間になれた事です。

また、事業継承に向けて何が足りないのか、今後事業継承問題をどう考え、明日からどのように行動を起こしていくのかを、見直すきっかけになりました。一緒に例会を作り上げた仲間と一緒に、今後も勉強と仲間作りをしていきたいと思っています。

けいしょう会は、勉強ありきの会です。しかし今回の例会作りでも仲間の大切さを痛感しました。本当にありがたかったと思っています。こんな仲間がいたから皆で刺激しあい、やり切れたとも考え、本当に感謝しています。けいしょう会は閉鎖された会にせず、常に間口を広げているような仲間作りのできる会にしていきたいと思っています。今後も自分たちで経営者を勝ち取れるように、努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

ブロック会

大森

大森ブロック長 皆川祐一

8月例会 大情熱BBQ大会は天気にも恵まれ、大勢の方々にご参加頂き大盛況にて行う事が出来ました。ご参加、ご協力、ご協賛頂きました皆様、誠にありがとうございます御座いました。来年も更に改善し、多くの皆様を楽しめる企画にしたいと思っております。

リバーサイド

ブロック長 佐々木正勝

わがブロックは支部最大の90名前後の

会員を擁するブロックであります。活動の中心は月一回のブロック会であり、近年の参加者減少傾向をブロックメンバーにて内容の充実をはかり一歩一歩ではありますが増員中、ベテランから初参加の方まで好評をいただいております。

本年は会の力をつける事「会勢を育てる」事を主たる目的とし、①開始概ね30分は禁酒、②近況報告参加各員毎1分質問2分、③ミニ勉強会を中心としております。

参加費実費(大体3千円前後)、ただの懇親ではなく、交流とスキルアップ、全員参加型の会であります。

忙しくて例会に参加しにくい方、例会開始時間に間に合わず諦めている方、そんな会員の皆さん遅くなくても大丈夫です。貴方が来るまで開催中、会外の方もウェルカムです。お時間の許す限りご参加いた

だき忌憚のない意見を頂戴出来れば幸いです。

ベイエリア

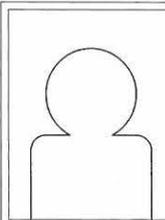
ブロック長 青木義昭

8月20、21、22日、宮城・岩手同友会との交流会に参加して、大田支部が全国の同友会から大きく注目されていることを知りました。また、地域との交流がとても大切なことも実感いたしました。

ベイエリアブロックは来年、平成24年新年賀詞交換会である北海道帯広同友会との交流例会を担当することになっております。ベイエリアブロック約70社ありますが、力を結集し、年内これからの活動を、正月例会の成功に向けて行ってゆきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



昨年11月から今年7月までに大田支部に入会された新しい会員の方々です。先輩会員のみなさん、例会やブロック会へ、ぜひお誘いください!



業種 都・区等官公需中心の土木建設業で、公道部分の水道工事に特化しています。
会社 〒143-0027 東京都大田区中馬込3-8-3
TEL: 03-3778-9211
FAX: 03-3778-9285
e-mail: yuriko@kimura-kougyou.co.jp
http://www.kimura-kougyou.com/
趣味 食べ歩き
推薦者 木村晃一

(株)木村工業

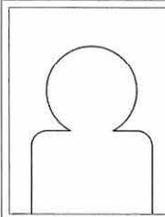
榛澤由理子
45226 2010.11.22 (入会)



業種 Web制作、及びWeb開発等、中企模開発までを得意とする。
会社 〒143-0015 東京都大田区大森西3-31-8-6F
TEL: 03-5767-7441
FAX: 03-5767-7442
e-mail: y-tainaka@system-assist.com
http://www.system-assist.com
推薦者 平岡律子

(株)システム・アシスト

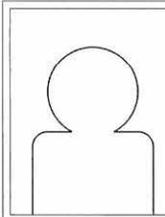
田井中友香
42220 2011.7.26 (入会)



業種 公園施設、都市環境施設、道路・河川用情報盤、各種競技場用照明鉄塔および照明ポール、照明施設等の製造
会社 〒144-0052 東京都大田区蒲田4-22-8
TEL: 03-5703-1441
FAX: 03-5703-1444
e-mail: torigat-u@ttkk.co.jp
http://ttkk.co.jp
趣味 カラオケ
推薦者 鳥淵浩司

テック大洋工業(株)

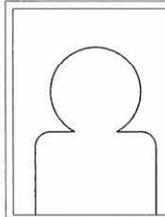
鳥淵佑樹
45311 2011.3.31 (入会)



業種 金属加工を中心とした製造全般に係わる業務。開発設計から量産組み立てまで物づくりをトータルでサポート。
会社 〒143-0013 東京都大田区大森南4-10-20
TEL: 03-3743-2976
FAX: 03-3743-1005
e-mail: info@toshin-ss.co.jp
http://www.toshin-ss.co.jp
推薦者 田中基茂

(株)東新製作所

石原幸一
45283 2011.2.14 (入会)



業種 印刷用反転機・調色装置等の省力機器、半導体、各種業界向け精密ラップ盤(研磨装置)等の設計、製作販売
会社 〒144-0034 東京都大田区西糞谷2-7-15
TEL: 03-3744-6551
FAX: 03-3744-6553
e-mail: info@sibahasi.co.jp
http://www.sibahasi.co.jp
趣味 ゴルフ、料理
推薦者 渡辺鉦弘

(株)芝橋

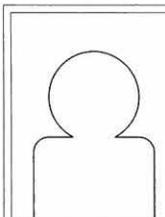
渡辺大
45259 2011.1.5 (入会)



業種 会計事務所、税務会計顧問、会社設立支援、相続税対策、銀行融資相談
会社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-6-7F
TEL: 03-6225-2036
FAX: 03-6225-2037
e-mail: info@arrowsfirm.com
http://www.arrowsfirm.com
趣味 テニス
推薦者 有倉将人

アローズ会計事務所

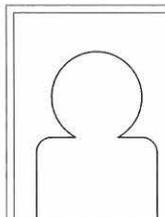
河野拓
45371 2011.6.30 (入会)



業種 不動産
会社 〒710-0833 岡山県倉敷市西中野22-5
TEL: 090-5695-7063
推薦者 事務局

エテルノ

犬伏正好
45366 2011.6.23 (入会)



業種 建設業、宅地建物取引業、ホテル運営、旅行業、レストラン業、ダンススタジオ運営
会社 〒105-0014 東京都港区芝3-12-18サンコート芝公園B1
TEL: 03-5440-7884
FAX: 03-3453-2885
e-mail: ishii@middlewood.jp
http://www.greenwood-net.jp
趣味 読書
推薦者 大谷雄二

(株)グリーンウッド

石井崇
45318 2011.4.23 (入会)

〈第3回〉大田支部幹事会議事録 2010.7.13

【出席者】(敬称略)鈴木、荒井、有倉、河津、佃、野口、皆川、青木、秋元、安藤、内田、木村、佐々木、田中、湯本(司会:有倉)

【入退会報告】2010年6月

入会2名 退会3名 現在211名

●入会 犬伏正好氏(エテルノ…事務局紹介)、河野拓氏(アローズ会計事務所…有倉さん紹介)

●休会・退会 矢野口智一氏(矢野口自工株式会社)、廣川敬三氏(株式会社湖口商店)、馬場雅敬氏(株式会社オープラス・メディア)

【報告事項】

①震災復興支援プロジェクト 岩手・宮城同友会との交流

8/20~22、一ノ関、陸前高田、気仙沼、仙台を訪問現地経営者の話を聞く。ビジネスを通じて息の長い交流を模索できないか模索する第一歩に。20名限定

②6/22 南部協大例会 参加者は合計210名(内、大田支部会員35名)

③リバーサイドブロック会報告、大森ブロック会報告

【協議事項】

[1] 今後の例会について

①9月例会9/14 担当:21研

講師:金谷年展氏 (株)地域戦略ホールディングス代表取締役社長、慶応義塾大学大学院 政策メディア研究科 教授 エネルギー政策の話と考えていたが、ブランディング戦略の実体験を含めた話になりそう。

②10月例会 東京経営研究集会 南部協で分科会を担当

平賀機械工業の平賀社長(大田)、深澤社長(目黒)、風間社長(世田谷)をパネラーに、立正大学の佐藤先生がコーディネーターして「新たなチャレンジで既成概念を打ち破ろう」をテーマに、全体会は「世界と戦う日本の中小企業」佐藤繊維社長の話。プレ例会9/12 18:30 立正大にて。参加費は5000円(パーティは別、4500円の早割チケットを支部で40枚購入 支部補助500円)⇒大田支部会員は4000円

③11月例会 リバーサイドB 講師:木村氏 8/4プレ例会ブロック会で

[2] その他

立正大学経営総合得論 大田支部の担当(担当:高倉副支部長)

7/9 内田由美子氏(株)京浜工業所「たよりない社長業 その力の源は愛」

7/16 木村晃一氏(株)木村工業「企業の最終兵器-----」

7/23 16:00総括会議

【当面の支部活動】

組織委員会、広報委員会、産学交流委員会(立正大学)、産学交流委員会(都立高専)、地域交流委員会、経営指針部会、温故知新の会、21研/世話人会(9/14例会担当)、同好会/親睦部会/マスター会、ブロック会(リバーサイド・大森・ベイエリア)、けいしょう会

※次期支部長推薦委員会(委員長は高倉副支部長)

今号の担当編集委員

松浦高士●おいしいドレッシングの高華
河津文三●イエー!! ホワイトホームズ
井上健太郎●アルミのことなら井上製作所
皆川祐一●油圧機械部品ならミナガワ
柳沢明子●“読まれる”モノ作りのバース
久保井隼●本物だけを。久保井海苔店
虻川良太郎●クレーン作業なら丸良興業

東京中小企業家同友会大田支部
Vol.6●No.85●平成23年9月7日